

オンライン講演会

2024.7-2025.3

「少人数教育のデータサイエンス」

少人数学級制度は、子どもにいかなる影響をもたらすのか。本講演会では、現在導入が始まっている、小学校での35人学級の教育的効果の実証研究成果を紹介し、生徒レベルの詳細なデータを用い、少人数学級教育は子どもの学力を本当に向上させるのか、そして「非認知能力」を伸ばす効果があるのかを解き明かします。また、少人数学級制度が、いじめや格差を是正するか、といった「効果の異質性」についても言及します。



講演者

駒沢大学経済学部教授 **北條 雅一 氏**

神戸大学経済学部卒業後、2005年大阪大学で博士号(国際公共政策)取得。新潟大学経済学部准教授などを経て現職。専門は教育経済学、労働経済学などの応用経済学。

「グローバルエイジングとライフコース変容」

報告者 (敬称略)

成蹊大学文学部教授

渡邊 大輔

「グローバルエイジングと社会意識」

成蹊大学非常勤講師

川端 健嗣

「ライフコースの変化と個人化」

日本福祉大学准教授

中島 民恵子

「グローバルエイジングと社会保障」

※成蹊大学アジア太平洋研究センター共同研究プロジェクト「グローバルエイジングとライフコース変容：福祉国家形成と展開の社会的分析（プロジェクト責任者：渡邊 大輔文学部教授）」の研究成果の一部となります。

9月24日(火) 16:50-18:30 (5限)

成蹊大学講義「共生社会トピックス・アジア太平洋地域の国際協力と開発援助」
において一般公開の講演会を開催いたします。(対象：一般・学生/参加無料)

「アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)とは何か(仮題)」

講演者 ダイバーシティ&ワークライフバランスコンサルタント **パク・スックチャ氏**

詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。

場 所：オンライン・オンデマンド配信 ※9/24の講義は成蹊大学にて開講(教室未定)

配信期間：2024年7月下旬～2025年3月末(予定)

費 用：無料(事前登録不要)

視聴方法：公式ウェブサイト(QRコードまたは下記URL)よりご視聴ください。

<https://www.seikei.ac.jp/university/caps/>

